

東京データプラットフォーム協議会 第6回推進会議

事務局資料

令和4年10月5日

本日の次第

1. 開会の挨拶
2. (報告事項) 東京のDX推進強化に向けた新たな展開について
3. 第5回推進会議の振り返り
4. TDPFのビジョン・ミッション
5. 令和4年度上期の各事業進捗報告
 - データ・利用者を増やす取組 (事業系)
 - TDPFを支える取組 (サポート系)
6. 意見交換①
7. TDPF推進の方向性について
8. 意見交換②
9. 東京都からのお知らせ

匿名投票ツール『Mentimeter』のご説明（1/2）

本推進会議ではスマートフォン等を通し、皆様からの投票を実施

Mentimeter機能の特徴	
容易な参加方法	■ お手元のスマートフォン等でQRコードを読み取るだけでログイン不要で参加可能 (スマートフォン・PC等でコードを入力することでも参加可能)
リアルタイム回答表示	■ お手元のデバイスで質問に回答すると、ブラウザ上にリアルタイムで結果を反映
匿名回答	■ 皆様の回答は 完全匿名 （事務局も回答は把握できません）

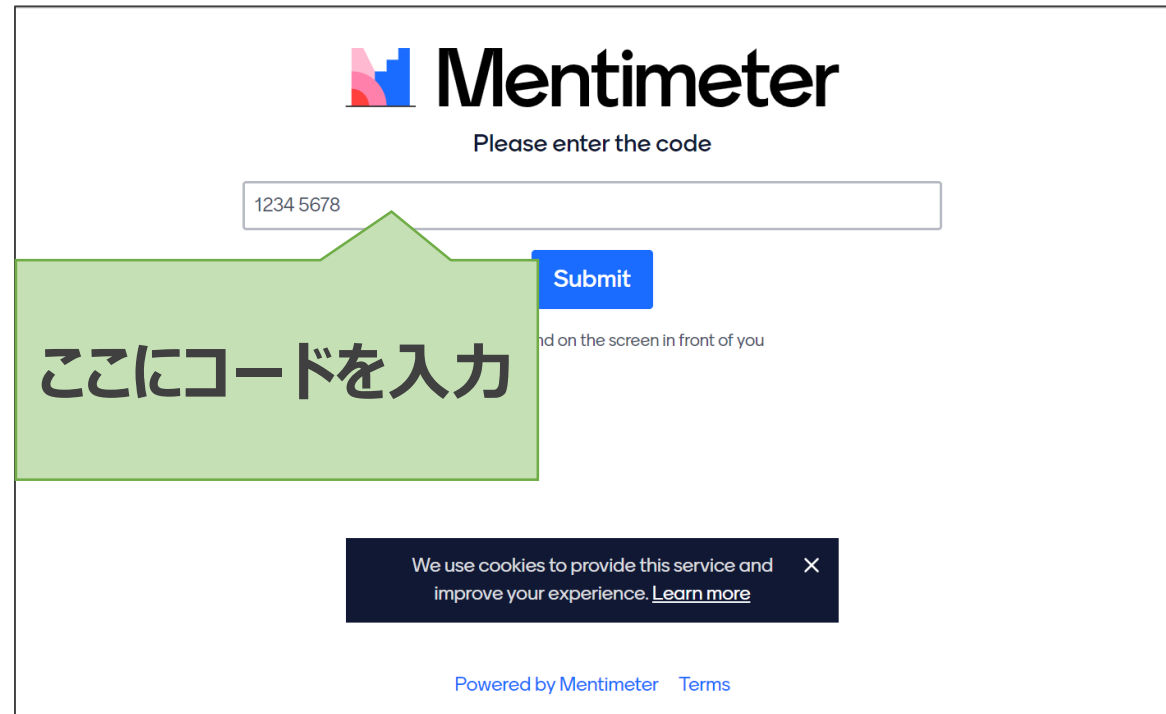
※会議中何度かご質問をいたしますので、回答画面は会議終了までそのままお願いいたします。

匿名投票ツール『Mentimeter』のご説明（2/2）

お手元のスマートフォン等でQRコードを読み取り、ご回答ください。



URL : <https://www.menti.com>



コード : 6345 8420

引き続きご質問がございますので、回答後の画面はそのままでお願いいたします。

本日の次第

1. 開会の挨拶
2. (報告事項) 東京のDX推進強化に向けた新たな展開について
3. 第5回推進会議の振り返り
4. TDPFのビジョン・ミッション
5. 令和4年度上期の各事業進捗報告
 - データ・利用者を増やす取組 (事業系)
 - TDPFを支える取組 (サポート系)
6. 意見交換①
7. TDPF推進の方向性について
8. 意見交換②
9. 東京都からのお知らせ

1. 開会の挨拶

東京都 副知事 宮坂 学

本日の次第

1. 開会の挨拶
2. (報告事項) 東京のDX推進強化に向けた新たな展開について
3. 第5回推進会議の振り返り
4. TDPFのビジョン・ミッション
5. 令和4年度上期の各事業進捗報告
 - データ・利用者を増やす取組 (事業系)
 - TDPFを支える取組 (サポート系)
6. 意見交換①
7. TDPF推進の方向性について
8. 意見交換②
9. 東京都からのお知らせ

本日の次第

1. 開会の挨拶
2. (報告事項) 東京のDX推進強化に向けた新たな展開について
3. 第5回推進会議の振り返り
4. TDPFのビジョン・ミッション
5. 令和4年度上期の各事業進捗報告
 - データ・利用者を増やす取組 (事業系)
 - TDPFを支える取組 (サポート系)
6. 意見交換①
7. TDPF推進の方向性について
8. 意見交換②
9. 東京都からのお知らせ

【振り返り】委員からいただいたご意見（1/3）

分類	主なご意見（第5回推進会議より）	対応方針
事務局の能力強化	<ul style="list-style-type: none"> ■ テーマではなく担う人のキャパシティやケイパビリティの強化を行い、縮小均衡を回避すべき ■ 定性的なものでも、達成すべき目標・基準の設定することで、進化・進歩につながる組織となる 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 参加者の協力によりケイパビリティ強化を図ることなども検討 ■ 推進計画上の定性目標の精緻化を進めていく ■ 数値目標はどんな項目を置けるか含め、今後の検討事項と認識
フロントランナーとして意識すること	<ul style="list-style-type: none"> ■ TDPFの活動はまさにフロントランナーであり、手本がない。情報・価値観の共有や「既存の枠組みを超えて、何をどうすべきか発想する力」も重要 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 協議会の活動等を通じた事例や課題の共有を継続 ■ 共有にあたっては、ビッグビジョンやミッション、目指す先を常に念頭に置く
ポリシーの進め方・考え方	<ul style="list-style-type: none"> ■ トライアンドエラーを通じ、ポリシー規定類、ルール等をブラッシュアップし、定型化させていかないと規模感は出ない 	<ul style="list-style-type: none"> ■ トライ&エラーにより、リスクヘッジできる規定・ルールのパターン等をナレッジ化して、定型化の実現を目指す
トラストの検討にあたって	<ul style="list-style-type: none"> ■ 東京都のローカルガバメントの中でのトラストと、外で議論は異なる部分が多い。抽象的・概念的な整理ではなく、実装に近いところに取り組むべき 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 海外等の先進事例も踏まえつつ、TDPFのビジョンの実現に適したトラストの検討を実施。実装時の様々なケースを想定して対応策を検討を進める

【振り返り】委員からいただいたご意見（2/3）

分類	主なご意見（第5回推進会議より）	対応方針
コミュニティの可視化	<ul style="list-style-type: none"> ■ 国内外、自治体の枠を問わず、新しい柔軟な発想でやれる人を作りながら取り組むべき ■ 民間事業者も、TDPFに共創目的で参加し、専門家、都庁関係者など、顔がはっきり見える場となることが望ましい 	<ul style="list-style-type: none"> ■ Govtech東京との連携による高度人材の活用を進める ■ Slackチャンネルの活用など、引き続きオープンな発信・協働のスタイルを励行し、巻き込み型でのコミュニティ活性化に努めていく
評価の重要性・仕組み化について	<ul style="list-style-type: none"> ■ チャレンジをした人達を評価する仕組み、表彰の制度や成果の可視化を通じて、コミュニティに貢献した人が報われ、参加意欲が高まるような仕組みが重要 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 都知事杯オープンデータハッカソン等の取組を通じ、共通課題解決による成功体験の還元など、参加者の自己肯定感の高まる活動を進めている
CSを進めるにあたって	<ul style="list-style-type: none"> ■ ケーススタディ事業は成功事例創出だけでなく、試行錯誤も大事。様々な方にご提案いただき数多く取り組むべき ■ PJから何を学べるかがまず大事であり、その熱量や共創する意思自体が貴重な財産である 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 幅広い関係者が参加するWGとの密な連携などにより、PJの質の向上を目指していく ■ 活動の中で得た成功と失敗の集積、成果の発信は、引き続き継続していく

【振り返り】委員からいただいたご意見（3 / 3）

分類	主なご意見（第5回推進会議より）	対応方針
データ整備の重要性	<ul style="list-style-type: none"> ■ 地味ではあっても、良いデータを作り、小さな成功体験をいくつも作っていくことが重要 ■ 様々な方の参加により、使いやすいデータの整備が実現される 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 行政データに加え、今年度は民間データの整備を対象を拡大 ■ 様々なデータの種類、形式をどのように加工すべきか、更なるナレッジの積上げも実施中
アドバイザー候補の選定にあたって	<ul style="list-style-type: none"> ■ 年齢や国籍に関係なくイノベーションを起こせる人、ノウハウがある人は登用すべき。そのような人材が活躍できるような環境を作ることも大切 	<ul style="list-style-type: none"> ■ アドバイザー制度は、将来的には中長期的伴走型支援等を通じて、ビジネス創出を後押し支援するあり方を検討 ■ アドバイザー選定にあたっては、民間事業者から様々な知見の提供が可能な多様性のある専門家を予定
Meet-upの重要性	<ul style="list-style-type: none"> ■ エネルギー問題など、社会の新しい動きも次々と起こっており、Meet-upのような活動はとても重要 ■ 開催成果の可視化など、実施後のフォローを励行すべき 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 第1回TDPF Meet-upを観光をテーマとして実施し、多数の方のご参加、活発な議論が行われた ■ 参加者に対しては、Slackコミュニティ等を通じ、事後フォローも検討していく。
機動的なデータ提供について	<ul style="list-style-type: none"> ■ データ活用の活用にはカバレッジやトラストも重要であるが、データのアップデートのスピードも重要。スタートアップのデータ利用可否の判断基準の一つとなる 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 利用者の立場に立った運営、適切なタイミングでのデータ連携実現に向け、WG活動でニーズのヒアリングなどを通じ、データの拡充を図っていく

【振り返り】参加者からいただいたご意見

分類	主なご意見（第5回推進会議より）	対応方針
TDPFの活動全体について	<ul style="list-style-type: none"> ■ 何を解決するためのTDPFなのか、TDPFで何を解決したいのかが具体的に示されていないような気がする。 ■ 都民の困りごと、現実課題をどのように解決していくかを深掘りしてほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ■ TDPFのビジョン・ミッションの下、関連性を持った取組であることを意識した発信を励行 ■ 今年度ケーススタディ事業では、防災・まちづくり分野のWGの議論を踏まえてテーマを設定し、プロジェクトを採択。引き続きWG等を通じ、コミュニティ参加者との議論を重ね、課題軸からのユースケース創出に努める。
エリアの連携について	<ul style="list-style-type: none"> ■ 取組の価値がまだまだ多くの方々に届いていない。情報の見せ方・届け方などもう一步進化することを期待する。 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 推進会議・WGなどは資料公開含め、オープンな発信から協働するスタイルを今後も継続する。次年度事業開始に併せて、広報的観点での取組強化を検討中
ユースケースへの積極的取組	<ul style="list-style-type: none"> ■ ユースケース実証は数多く取り組むことで、価値が出てくることもあると思う。数多く実施できるように推進してほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ■ ケーススタディ事業プロジェクトにて、事業の発展性や、仮想データ連携基盤へ提供されるデータの更なる活用アイデアなども視野に入れて推進

本日の次第

1. 開会の挨拶
2. (報告事項) 東京のDX推進強化に向けた新たな展開について
3. 第5回推進会議の振り返り
4. TDPFのビジョン・ミッション
5. 令和4年度上期の各事業進捗報告
 - データ・利用者を増やす取組 (事業系)
 - TDPFを支える取組 (サポート系)
6. 意見交換①
7. TDPF推進の方向性について
8. 意見交換②
9. 東京都からのお知らせ

東京版Society 5.0「スマート東京」の全体像

デジタルサービスで都民のQOL向上 3つのシティ実現

セーフシティ

ダイバーシティ

スマートシティ

防災

まちづくり

モビリティ

エネルギー

自然

ウェルネス

教育

働き方

産業



- カメラ、ドローンで情報収集
- AI危険自動検知



- 3Dデジタルマップ



- 自動運転
- MaaS



- 地産地消
- デマンドコントロール



- 水と緑
- 生物多様性



- 見守りロボット
- 病気早期発見
- 遠隔診療



- 個別最適化教育
- タブレット学習
- 遠隔授業



- テレワーク
- 単純業務AI化



- IoT、3Dプリンター
- 農林水産業自動化

アウトプット



TOKYO Data Highway



アウトプット

Bluetooth



オープンなビッグデータプラットフォーム / AI活用

LPWA



データ



データ



Bluetooth



データ

自然・気象



インフラ



くらし・経済



都庁デジタル
トランスフォーメーション

デジタルシフト

オープンガバメント

デジタル人材

ビジョン

- 官民のデータ流通を促して、イノベーションを後押し、社会課題を解決
- 全ての人が快適に暮らし働くことができる社会・スマート東京を実現

ミッション

- 都民・データ利活用に関わるあらゆる人たちと、オープンに協働
- 安心してデータ利活用できる社会の実現を先導

データ 戦略

様々な組織と「つながる」、データが相互に「流れる」ことで、イノベーションを後押しした、現状に留まることなく、常に「進化する」ことへの挑戦を継続

TDPFは、データ流通推進事業・データ整備事業の実施や各種取組により、2025年に以下を達成し、社会的課題の解決につながっていることを目指す

- TDPFが、会員主体の**活発なデータ利活用事例創出が行われているコミュニティ**となり、参加者は、国・自治体との連携や産学官交流を通じ、多様な分野で活動し、**社会課題の解決**に貢献できること。
- データ整備事業と社会啓発活動により、**社会のデータ整備コストを低減**し、官民がデータ提供しやすい環境を整えていること。
- 他自治体・他団体と連携し、**オープン、かつワンストップで多種多様（リアルタイム、条件付等）なデータを取り扱えるデータ連携基盤**を提供できていること。
- **データ利活用に関するルール・運営体制を整備**し、TDPF利用者が、**安心してデータ利活用**に取り組める環境を提供できていること。

本日の次第

1. 開会の挨拶
2. (報告事項) 東京のDX推進強化に向けた新たな展開について
3. 第5回推進会議の振り返り
4. TDPFのビジョン・ミッション
5. 令和4年度上期の各事業進捗報告
 - データ・利用者を増やす取組 (事業系)
 - TDPFを支える取組 (サポート系)
6. 意見交換①
7. TDPF推進の方向性について
8. 意見交換②
9. 東京都からのお知らせ

推進計画 概要（案）

WGの取組拡大やケーススタディ事業等での仮想データ連携基盤活用など、事業開始に向けた取組を加速

		令和3年（2021年）	令和4年（2022年）	令和5年（2023年）	～令和7年（2025年）
TDPF構築の ステップ		データ連携基盤 構築準備	データ連携基盤稼働を想定した活動強化・準備	データ連携基盤稼働サービス開始	データ連携基盤稼働・事業の段階的拡大 コミュニティ・業務基盤整備 他団体／スマートシティとの連携強化
		準備会の議論を踏まえたコミュニティ構築、データ連携基盤検討			
主な取組		コミュニティ（民間事業者等）の自律的な活動を支援・拡大			
		<ul style="list-style-type: none"> 協議会を設立し、コミュニティ構築開始 注力分野を定め、WG活動拡充（防災データ・施設系データ集約 新設） データ整備事業検討開始 	<ul style="list-style-type: none"> 協議会の取組強化WG活動拡大（エリア連携WG立上げ、アドバイザー制度等の活動支援強化） 創出されたモデルユースケースを、仮想データ連携基盤に実装 	<ul style="list-style-type: none"> データ連携基盤サービス提供開始 区市町村データを対象にした整備 ポリシー適用開始 アドバイザーリーボード（第三者委員会）設置・運用開始 	<ul style="list-style-type: none"> 都市OS等の他PFとの接続開始 データ連携基盤の取扱いデータ拡充 協議会有償会員制度設計

令和4年度上期の各事業進捗状況

①コミュニティ構築

①協議会の取組拡充

- TDPF利用者とのネットワーキングやコミュニティを形成
 - **コミュニティ活性化に向けSlackの改善**
 - **新規WG×3（トラスト検討・エリア連携・Meet-up）キックオフ**

②ユースケース創出

②ケーススタディによるWG等ユースケース実装

- **今年度3プロジェクトの選定完了、実施計画書策定・活動準備**

③データ整備

③データ整備手法の拡充・事業化準備

- **自治体・民間へのアンケート実施、データ整備協力者の決定**

④ポリシー

④ポリシー案改訂・アドバイザリーボード設置準備

⑤基盤構築

⑤仮想データ連携基盤の構築・提供

- **利用マニュアル整備済、基盤構築**

令和4年度のTDPF協議会概要

WG活動拡大により、ユースケース創出の取組を拡充 TDPF事業開始に向けた準備を加速

東京データプラットフォーム協議会

推進会議



様々な分野の有識者等で構成

防災データWG
施設系データ集約WG
トラスト検討WG



Meet-upWG

エリア連携WG



アドバイザー

テーマごとの関係者（企業等）で構成
アドバイザーによる支援

Slack



コミュニティメンバー間の情報交換

実施内容

推進 会議

- WG・イベントの取組や関連事業の進捗状況報告
- 注力分野や事業計画（案）等の共有・討議

WG

- ユースケースの創出に向けた活動・議論を実施
- 各分野のデータ利活用の課題や対応策について協議
- WGを3から5つへと分野拡充とともに、ケーススタディ事業を活用してユースケース創出を更に推進

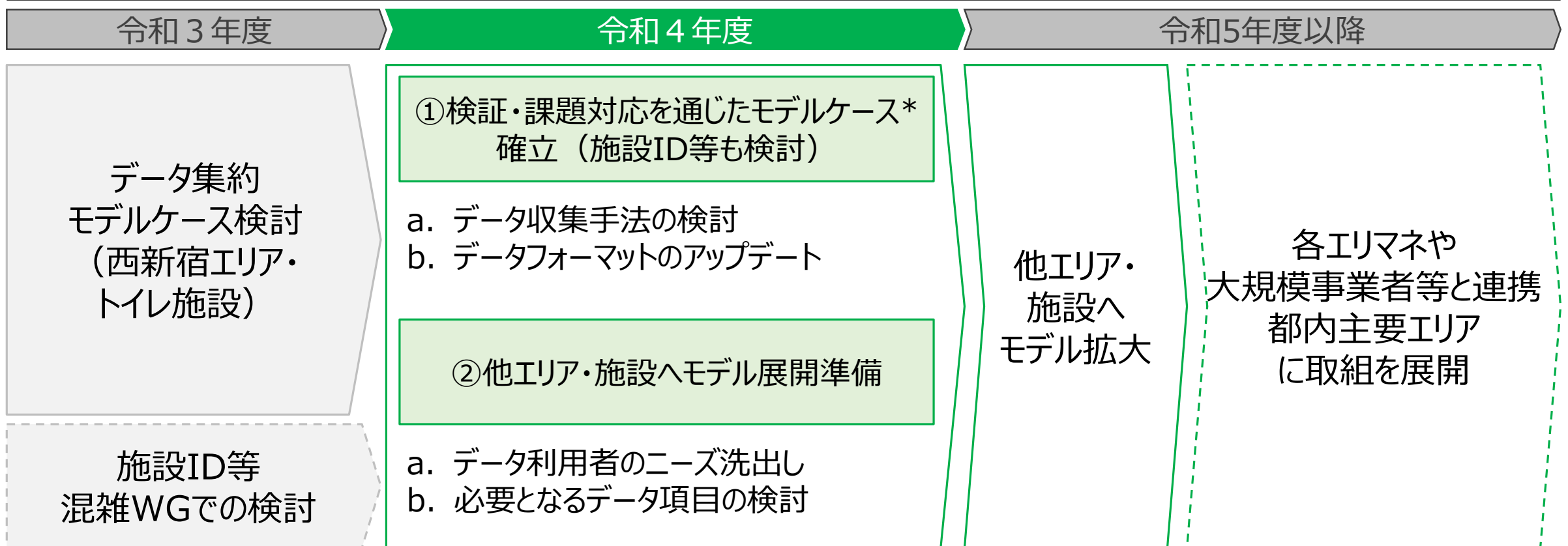
コミュニ ティ

- WG活動の推進や協議会メンバーのネットワーク拡大・情報交換の場（Slackを活用）

施設系データ集約WG 全体計画

トイレ施設を題材に、データ集約モデルケースの確立や、
他エリア・他施設へのモデル拡大を目指す

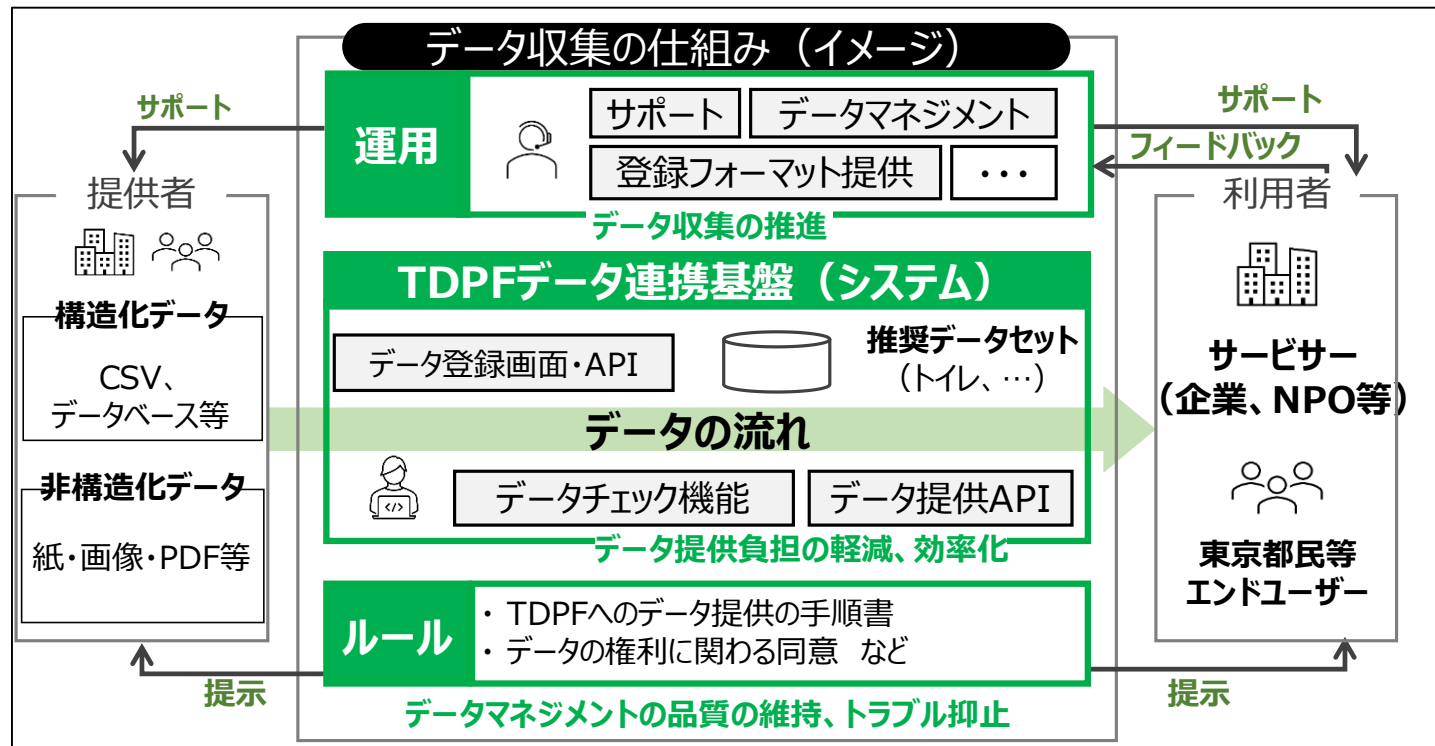
施設系データ集約WGのロードマップ^o



施設系データ集約WG 第6回WGでの取組

WGでの議論深化に向け、施設系データを拡充する仕組みの検討状況や ケーススタディ事業の取組を共有

目指す姿の検討状況を共有



取組先行企業から事例共有

CS事業を題材とした今後のWG課題
検討に向け、プロジェクトの計画を共有



施設系データ集約WG 今後の検討事項

これまでの議論やアンケートなどを参考に、課題解決に向けた取組を加速

参加者の
ご意見
(一部抜粋)

- 効率的なデータ収集には協力者（自治体など）を巻き込みが重要
- 今後の取組内容/スコープのインプットを受け、自らの取組への示唆を得ることができた
- データの更新とその頻度、修正条件などの検討は重要
- 社会課題の解決などのイメージが具体的に湧くようなアイデアを多数集めるべき

今後の
進め方
(予定)

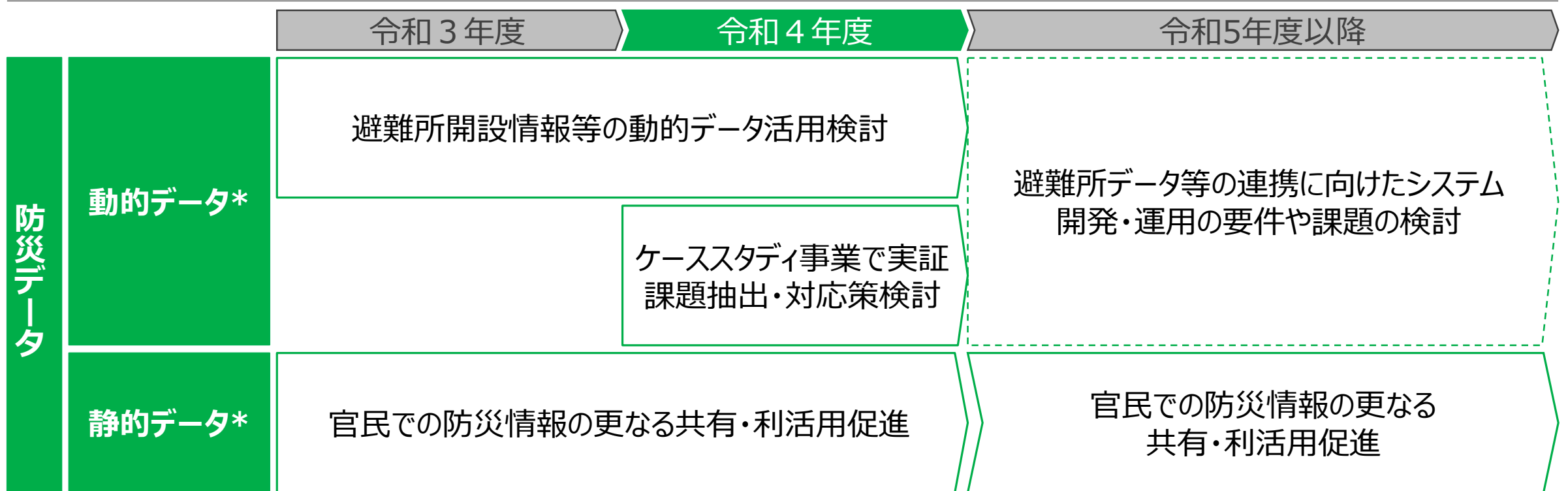
■ 個別ヒアリング・ディスカッションの実施

- └ 先行企業の知見・経験をTDPFに反映し実効性のあるデータ収集の仕組みを構築
- └ 施設データの展開イメージとユースケースの案出し 等

防災データWG 全体計画

ユースケースの実装に向け、データ収集・提供方法等の検討
また、防災データ利活用に向けた事例検討・創出も継続的に実施

防災データWGのロードマップ^o



*動的データ：時間変化を伴うデータ（道路・断水等インフラ情報）

*静的データ：時間変化しないデータ（各種ハザードマップ、過去の被災データ）

防災データWG 第6回WGでの取組

第6回WGでは、防災データを活用する事業者による TDPFとの連携やオープンデータ活用を想定した事例発表を実施

アールシーソリューション(株)

自治体向け防災アプリ等のサービス

- オープンデータから取り込んだ施設情報を避難所運営に活用

全エリア	新宿西口	新宿東口	新宿南口	更新日時: 2021.02.15 08:02		
民	工学院大学新宿キャンパス	2021.02.15 08:02	安全	火災の有無	電気/ガス/水道/通信/トイレ	確認中
公	定橋市場	2021.02.15 08:02	安全	火災の有無	電気/ガス/水道/通信/トイレ	確認中
			安全	火災の有無	電気/ガス/水道/通信/トイレ	確認中
			安全	火災の有無	電気/ガス/水道/通信/トイレ	確認中

オープンデータから取り込んだ施設情報を「エリア災害対応支援アプリケーション(避難所対応版)」に反映

ESRIジャパン(株)

「ArcGIS」を活用した防災の取組

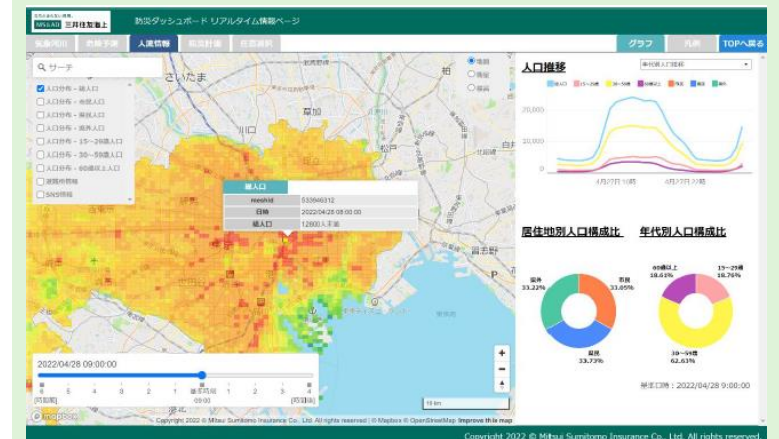
- 災害対応サイクル(予防準備・初動応急・復旧復興)におけるGISの利活用



三井住友海上火災保険(株)

自治体向け防災ダッシュボード

- 防災データを活用し平時の備えから発災後まで、防災・減災を幅広く支援



防災データWG 今後の検討事項

これまでの議論やアンケートなどを参考に、課題解決に向けた取組を加速

参加者の ご意見 (一部抜粋)

- 各社の取組紹介を通じて、**オープンデータの利活用における具体的なイメージ**に繋がった
- ファイル形式のバラつきなどを是正するため、**データフォーマットの整理**が必要
- データ提供に係る**信頼性の担保**と**即時性ある情報の連携**が重要
- 開発計画などを立てるうえで、**公開データを一元的に把握**できると良い

今後の 進め方 (予定)

- **個別ヒアリング・ディスカッションの実施**
└ WG参加者からのアンケートをもとにテーマを決定し、協力事業者と討議・意見交換等を予定
- **第7回WG活動**
└ 今年度の取組の成果報告

エリア連携WG 取組概要

スマートシティ推進エリアと意見交換・議論の場を設定
連携施策や接続の具体的なあり方を検討、関連事業とも適宜連携

目的と 検討事項

1. 連携施策の検討

- エリア間のデータ連携によって実現する施策について、具体的なユースケースの考案と実証

2. 接続の具体的なあり方の検討

- 連携に係わる課題を踏まえ、TDPFがどのような機能や役割を有するべきかの有り姿の検討
- 基盤整備事業等の他事業と連携し、接続・連携実現の実証を行う

WG 参加者例

スマートシティ推進エリア

スマート東京 先行実施エリア

大丸有

竹芝

豊洲

西新宿

南大沢

ベイエリア

その他エリア
東京都・首都圏等

スマートシティ参画事業者

課題解決に関わる有識者

都庁関連部局

連携対象 TDPF事業

基盤整備事業

データ整備事業

ポリシー案策定

その他関連事業

エリア連携WG 全体計画

各エリアの連携にむけた課題共有・連携ユースケースのイメージ醸成から開始
 実際の施策や接続の実証、並びに対象地域の拡大を目指す

		令和4年(2022年)	令和5年(2023年)～令和7年(2025年)		
推進計画概要 TDPF		<ul style="list-style-type: none"> 創出されたモデルユースケースを仮想データ連携基盤に実装 	<ul style="list-style-type: none"> データ連携基盤稼働サービス開始 ポリシー適用開始 	<ul style="list-style-type: none"> 都市OS等の他PFとの接続開始 データ連携基盤の取扱いデータ拡充 	<ul style="list-style-type: none"> 都市OS等の他PFとの接続を梃子に国・産学官との連携事例の創出
	連携施策	ユースケースイメージと取組の行動計画策定	ユースケース考案と試験的接続を用いた実証	実際の連携基盤上で施策を実証・実現	
	接続	接続に向けた課題の明確化とロードマップ策定	接続技術仕様の決定と実証	一部の都市OS等と連携運用の開始	
	ポリシー	連携における運用上の課題の明確化	ポリシーの仮策定とユースケースを題材にした検証	ポリシーの本策定と運用の開始	

構想と実現のステップ
 エリア連携

エリア連携WG 今後の検討事項

公共性の高い分野の課題解決に向けた共創型のユースケース等を検討

参加者の
ご意見
(一部抜粋)

- **ユースケースは広く整理**すべき。人材融通連携なども検討できるとよい
- 連携後の**ビジョンの共有・すり合わせ**が重要
- 単につなぐだけでなく、**使い手・住民目線に立ち**、安心な日々の暮らしなど、その先にある**目的を明確**にすべき
- **連携に必要なシステム構築の検討**も併せて実施していく必要

今後の
進め方
(予定)

- **「共創」で解決すべき課題の策定**
↳庁内やスマートシティ関連企業、その他エリアで検討されるテーマを参考
- **ビジョンや連携実現によるメリットを明確化**
↳公益性を担保した取組を意識
- **データや接続の仕様など検討** など

Meet-up（観光） 実施概要

TDPF活用検討領域の拡大を狙い、各テーマに関心のある参加者を募集
アイデアを創発するとともに、コミュニティを強化

Meet-Up 準備

Meet-up テーマ出し

TDPFのビジョンや社会課題に沿った新テーマの洗い出し

エネルギー

フードロス

介護サービス

自然・安全

観光

医療機関

保育・教育

環境・気候

・・・など

参加者募集

テーマに関わりそうな事業者を募集



TDPFコミュニティに
参加済みのメンバー



TDPFに参加
していない方々

- 新テーマに
取り組みたい
- 仲間を探している
- 自社知見を
役立てたい

Meet-Up 開催

多様な事業者とのディスカッションで
自らが貢献できる新たな価値を発見



ライトニングトーク
(データ活用ユースケース例)



ワークショップ

ワークショップテーマ（観光）

- 東京都のユニバーサルツーリズムを
当たり前にするデータ活用施策
- インバウンドが東京都もっと楽しむこ
とができるデータ活用施策

取組の
裾野を広げる

コミュニティの
強化

Meet-up（観光） 実施結果

ライトニングトークを受け、参加者同士で活発な議論・意見交換
参加者が繋がる場に

当日の進行

ライトニング
トーク

都の取り組み (東京都産業労働局)
Universal MaaS (全日本空輸株式会社)
旅行者動向情報の活用 (Vpon Japan株式会社、 株式会社ナイトレイ、株式会社クニエ)

グループワークでの検討内容（一部抜粋）

グループ①

- 現実とオープンデータ、お店側の情報との齟齬を是正できないか
- ARを活用し、過去の魅力を感じながら歴史を学べる価値を生み出せないか

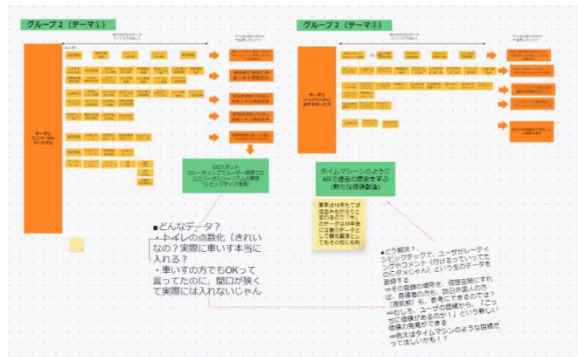
グループ②

- 電子決済の整備不足による、海外渡航者が支払い時の不便さを解決できないか
- データを集めているが、ネガティブな情報の活用が進んでいないのではないか

グループ③

- インフラの制約事項の中でも体の不自由な人の状態を定量化し、パーソナライズ化したサービスの提供が必要なのではないか

グループワーク



Zoomのホワイトボードを使用

Meet-up（観光） 今後の検討事項

今後の活動につながる気運醸成と、参加者同士の出会いに寄与
アイデアの具体化・深度化のために更なる仕掛けが必要

	Meet-up観光の結果	今後の検討事項
取組の 裾野を広げる	<ul style="list-style-type: none">▶ データ利活用に関する多様で活発な意見交換がなされた▶ より新規性のあるアイデアには至らなかった	<ul style="list-style-type: none">✓ 行政課題解決やデータ利活用につながるディスカッションテーマの工夫
コミュニティの 強化	<ul style="list-style-type: none">▶ 参加者同士のマッチングが実現▶ 「アイデアを具体化していきたい」「実証実験の機会を提供してほしい」といった、実装に向けた気運醸成につながった▶ 他のテーマでの実施を期待するなど、取り組みへの高い意欲を確認	<ul style="list-style-type: none">✓ Meetした企業同士の熱量を下げないためのアフターフォローを検討✓ データ利活用アイデアの具体化・実装に向け、アドバイザー制度やWGなどとの連携

ケーススタディ事業 概要

施設・防災の 카테고리からTDPFの継続利用に繋がる3プロジェクトを選定
仮想データ連携基盤の利用、ポリシー案の適用をし、実装に向けた検討を具体化

① TDPFの継続利用に繋がるケーススタディを3件採択

カテゴリー	プロジェクト名
①施設系データの集約と利活用	TOKYOトイレマップ
②防災データの利活用	TDPF – 都市OS間の災害時の施設データ連携
	集客施設による災害時の多言語情報提供

② TDPF関連事業における具体的な検討の場として活用

- 1) 仮想データ連携基盤を利用し、要件のフィードバック
- 2) データ提供および利用の際にポリシー案を適用し、課題の洗い出し

③ 得られたケーススタディを利活用事例として、積極的に広報



PROJECT01 TOKYOトイレマップ

施設系データの
集約と利活用

実施者

株式会社バカン

概要

官民のトイレ設備情報をベースに、バリアフリートイレのリアルタイムの混雑情報を付加して発信。利用ユーザー発信も加え、誰もがトイレに困らない世界を実現する。

利用データ

官民のトイレ設備データ、バリアフリートイレの混雑データ、ユーザー投稿データ

SHIBUYA発
トイレで困らない世界を実現

実施
イメージ

自治体と企業、そして住民。みんなでトイレを、街をもっとよくなっていく

TOKYOトイレマップ

MAP型のトイレ情報サービス

- 自分の近くのトイレがわかる
- バリアフリートイレの空き状況がわかる
- トイレの評価がわかる
- 正しい設備情報を維持できる



WEB画面イメージ

利用データ

- トイレの設備データ
 - オープンデータ
 - 施設からの提供データ
- バリアフリートイレの混雑データ
 - センサデータ
- ユーザーの投稿データ
 - 設備に関するコメント
 - リアクション
 - フリーコメント

東京データプラットフォーム(TDPE)
(施設管理者等による活用)



実施者

日本電気株式会社

概要

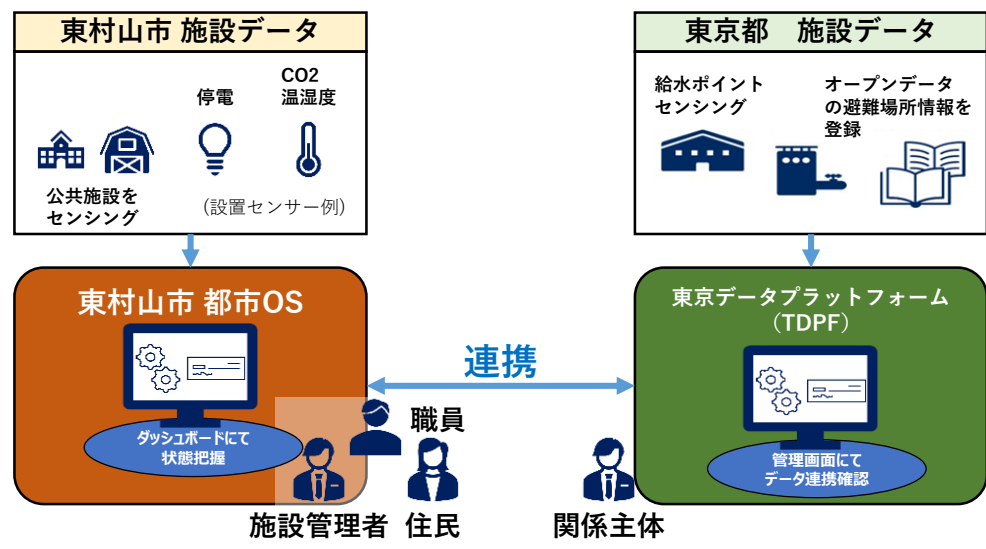
公共施設の維持管理用のセンシングデータ活用で発災時の避難所の開設を迅速化、TDPF と自治体のデータ利活用基盤（都市OS）との連携で、関係主体間での避難所開設情報等を共有

利用データ

公共施設センシングデータ（給水施設、学校）、避難所情報オープンデータ

実施イメージ

平常時の公共施設等の維持管理情報を、災害発生時の避難所開設に活用



都市OSとTDPFの連携で、関係主体間で避難所開設情報等を共有し、活用



実施者

株式会社ぐるなび（LIVE JAPAN 事務局）

概要

訪日外国人向け観光情報サービス「LIVE JAPAN PERFECT GUIDE（LIVE JAPAN）」を活用し、発災時に集客施設が発信する「支援情報」を多言語提供、また、東京都が提供する避難場所・一時滞在施設のオープンデータをLIVE JAPAN内コンテンツの「便利MAP」で表示

利用データ

集客施設の施設情報・支援情報、避難場所・一次滞在施設のオープンデータ

実施イメージ



ケーススタディ事業 イベント実施

採択プロジェクトの実証開始に併せ、イベントを開催 プロジェクトへの協力事業者等を募集予定

イベント（予定）

■ 時期

11月中旬頃（オンラインでの開催予定）

■ 主な内容

11～12月に予定されている各プロジェクトの実施内容をご紹介します、協力の呼びかけや、専門家からのコメントを頂きます。

- 実証等の詳細実施内容発表
- 講評と期待（登壇者調整中）
- 実証参加者、協力事業者の募集案内

■ 参加方法

ケーススタディ事業Webサイトで告知
ぜひご参加ください

プロジェクトの実証参加者、協力事業者を募集 ～ 興味のある方は事務局へご連絡ください

協力パターン1：

実証参加

実証のデータ収集や
発信、データ収集の
対象となる施設や
企業としての参加

協力パターン2：

効果検証参加

各プロジェクトのアウト
プット活用について
のヒアリング等、効果
検証への協力

協力パターン3：

データ提供

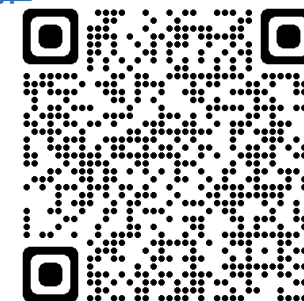
自社が保有するデー
タの各プロジェクトへの
掛け合わせで、将来
的発展が見込める等

■ 連絡先（ケーススタディ事業事務局）

tdpf_casestudy_jimukyoku@ml.mri.co.jp

※第1回イベントの実施内容についてもこちらで
ケーススタディ事業Webサイト

(https://www.digitalservice.metro.tokyo.lg.jp/society5.0/case_study/)



データ整備事業 概要

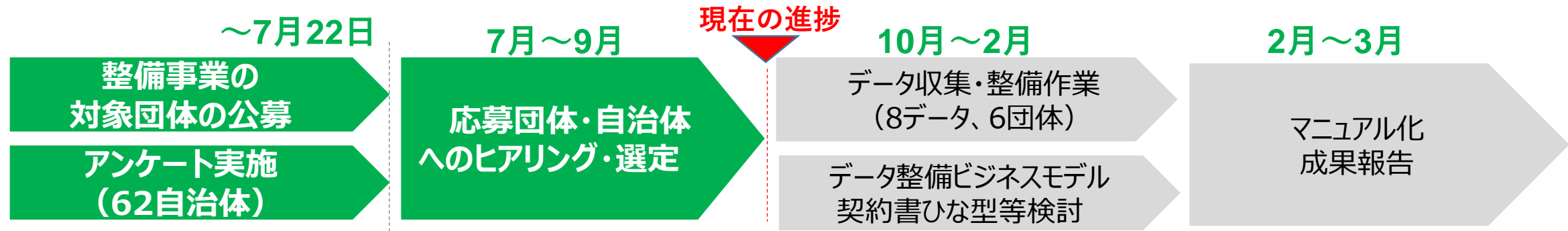
整備事業対象団体の公募、自治体アンケートを実施
応募団体・自治体へのヒアリング後、整備事業への協力団体・自治体が決定

事業目的

- ① 昨年度顕在化した課題の解決に取組み、データ整備メニューを高度化
- ② 民間事業者の保有データも含む新たな分野のデータを対象にデータ整備手法をモデル化

検討成果を踏まえ、データ整備事業のビジネスモデルを検討

進捗



下記データ（緑色）のデータ整備・マニュアル化を進める

(※)は、小規模自治体向けの観点で整備

地域・年齢別人口(※)

介護サービス事業所
一覧(※)

スマートホーム
関連情報

イベント情報

医療機関一覧(※)

食品等営業許可
一覧

店舗や施設一覧

人流統計

整備モデル
対象データ

データ整備事業 対象データと協力団体の決定

データ整備手法のモデル化やメニュー高度化に向け、審査会を経て6団体に決定

対象データセット	業種	決定理由	データ整備方針や想定成果
店舗・施設一覧	小売	<ul style="list-style-type: none"> 店舗に関する幅広い情報を保持 自治体との連携も想定 	<ul style="list-style-type: none"> POIコードや町字IDの付与、同コードを用いたデータ整備の実施
	情報・通信	<ul style="list-style-type: none"> 様々な店舗・施設一覧のデータを既に整備しており、参考事例として有効 	<ul style="list-style-type: none"> 店舗・施設一覧における望ましいデータフォーマットの検討
人流データ (カメラで取得)	地域団体	<ul style="list-style-type: none"> 将来的な広域連携や外部提供も想定 	<ul style="list-style-type: none"> 複数地点・広域エリアでの人流データの連携を見据えたデータ整備の実施
食品等営業可・届出一覧	23区自治体A	<ul style="list-style-type: none"> 今年度新たに整備するデータセット 推奨データセットへの変換作業、緯度経度付与、法人番号付与等の整備検討に最適 	<ul style="list-style-type: none"> 推奨データセットやデジタル庁の取組等に準拠する上で必要なデータ整備の実施 <ul style="list-style-type: none"> 法人番号、緯度・経度、POIコード、町字ID、メタデータの付与 エラーデータの訂正
	23区自治体B		
地域年齢別人口 医療機関一覧 介護施設一覧	島しょ部自治体	<ul style="list-style-type: none"> 島しょ部のデータ整備推進の先進事例として選定 	<ul style="list-style-type: none"> 1データセットあたりのデータ量が少ないため、複数のデータセットを対象に整備を実施

令和4年度上期の各事業進捗状況

①コミュニティ構築

①協議会の取組拡充

- TDPF利用者とのネットワーキングやコミュニティを形成
 - コミュニティ活性化に向けSlackの改善
 - 新規WG×3（**トラスト検討**・エリア連携・Meet-up）キックオフ

②ユースケース創出

②ケーススタディによるWG等ユースケース実装

- 今年度3プロジェクトの選定完了、実施計画書策定・活動準備

③データ整備

③データ整備手法の拡充・事業化準備

- 自治体・民間へのアンケート実施、データ整備協力者の決定

④ポリシー

④ポリシー案改訂・アドバイザリーボード設置準備

⑤基盤構築

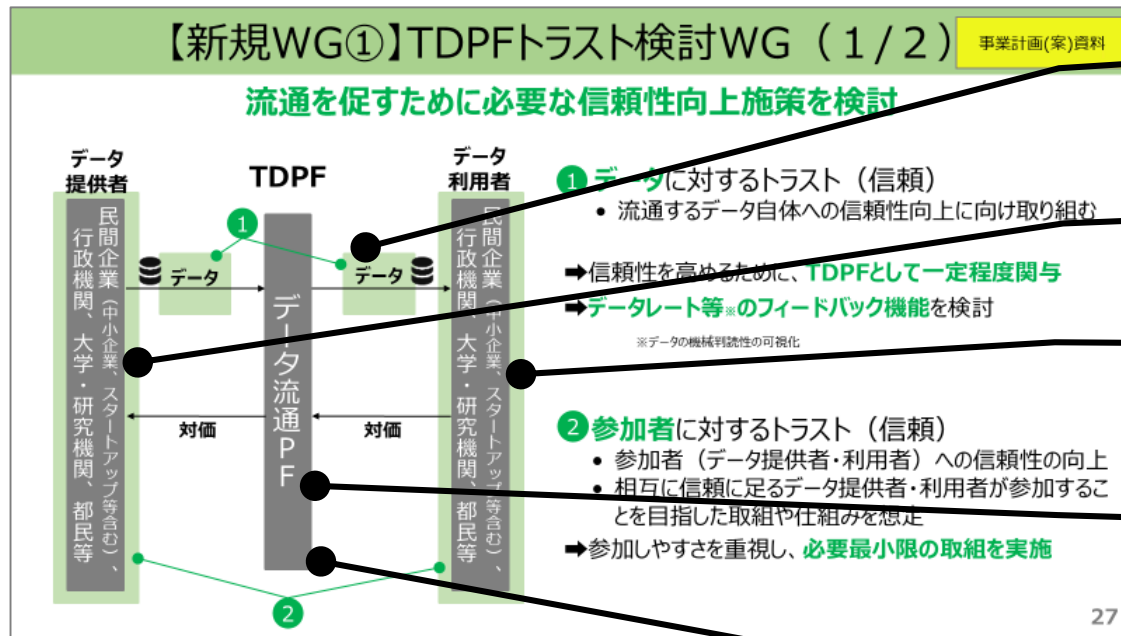
⑤仮想データ連携基盤の構築・提供

- **利用マニュアル整備済、基盤構築**

トラス​​ト検討WG 検討内容

TDPFにおけるトラス​​トの対象を5つに整理 主に①データ、②提供者、③利用者、④運営主体の4点から検討

「データ」「参加者」というトラス​​トの対象を詳細化



①データの信頼性

②データ提供者の信頼性
(データ利用者から見た)

③データ利用者の信頼性
(データ提供者・データ主体から見た)

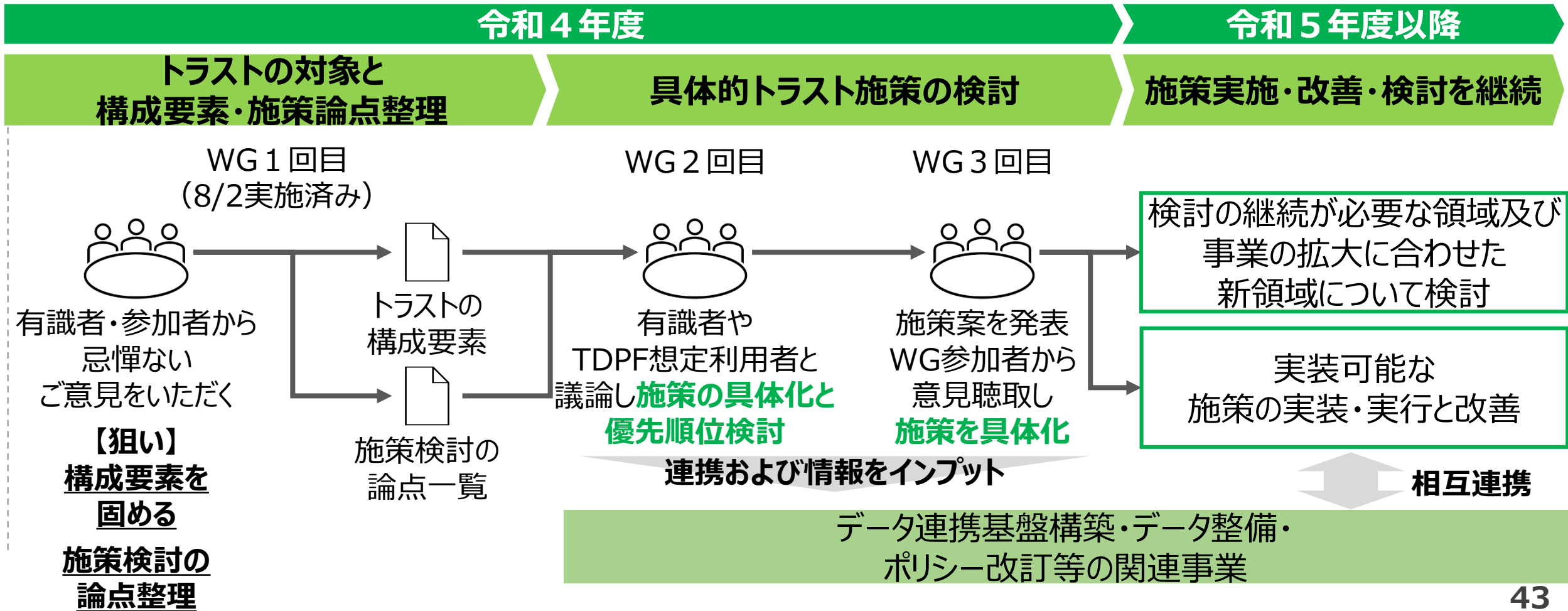
④運営主体の信頼性
(データ提供者・利用者・データ主体から見た)

⑤システムの信頼性

⑤システムの信頼性には、「データの受け渡しの証拠を残す仕組み (トランザクションの信頼性)」や「情報セキュリティ」などの要素があるが検討はデータ連携基盤事業で行う
ただし、本WGの検討結果のインプットは適宜実施する

トラスト検討WG 全体計画

トラストの対象や施策の論点を整理し、今後の施策具体化につなげる
事業の拡大にあわせて検討も広げる



トラスト検討WG 主な意見と今後の検討事項

検討範囲が広いテーマのためTDPFの利用シーンを定めて検討

第1回WGの主な成果と課題

- **WGで今後検討すべき論点を整理**
 - 大方針として「規制型」「管理型」のどちらで進めるか
 - TDPFとして特におさえるべきトラストの観点
例) データ取得方法の適法性 など
 - トラスト確保に向けた具体的な施策案
例) 規約に運営がデータにアクセスする
「可能性」を記載することで牽制をかける
など
- **より検討の範囲を明確にした進め方が必要**
 - 検討範囲が広いテーマだが、事業開始までに一定の成果を得る必要
 - 今年度優先的に検討すべき領域がどこであるかを明確にして検討していく必要

今後のWGでの取組

- **集中的に検討**
 - 事務局案に対して承認をもらうような進め方ではなく、有識者とのディスカッションを通じて、TDPFが確保すべきトラストについて検討
- **具体的なシーンを設定して検討を行う**
 - TDPFの取扱データ拡大イメージ（後述）に基づき、来年度以降の**事業開始後のTDPFの使われ方を設定し、その使われ方において必要なトラストは何か**という観点で具体的な検討を行う

ポリシー案改訂・アドバイザリーボード 全体計画

継続的にポリシー案とTDPF関連事業を照合し、必要に応じて改訂

令和3年度

東京データプラットフォーム
ポリシー構成

東京データプラットフォーム
プライバシー
ステートメント

東京データプラットフォーム
規約

東京データプラットフォーム
データガバナンス指針

東京データプラットフォーム
コンプライアンス指針

東京データプラットフォーム
情報セキュリティ
ポリシー

令和4年度

協議会・
ケーススタディ
データ整備 等

「協議会」「ケーススタディ事業」「データ整備」等を通じて
事業内容・組織体制等の詳細を策定

- TDPF事業計画（案）・内容詳細策定、ユースケースの具体化
- 仮想データ連携基盤の構築、民間事業者や自治体のデータ整備事業

検討結果等を反映

ポリシー案策定

事業内容・ユースケース等に基づいたポリシー案に改訂

- 個人情報に限らず、事業内容・ユースケース等に応じて条項案の改訂
- 主な課題
 - ✓ 法令改正等による改訂
 - ✓ 運用体制に応じた管理体制整備
 - ✓ データ提供者・利用者に求める事項
 - ✓ 取り扱いデータの判断方法 …等

事業体制検討

事業体制や必要機能の検討に応じて、**アドバイザリーボード
(第三者委員会) 設置等の準備**

データ連携基盤事業 概要

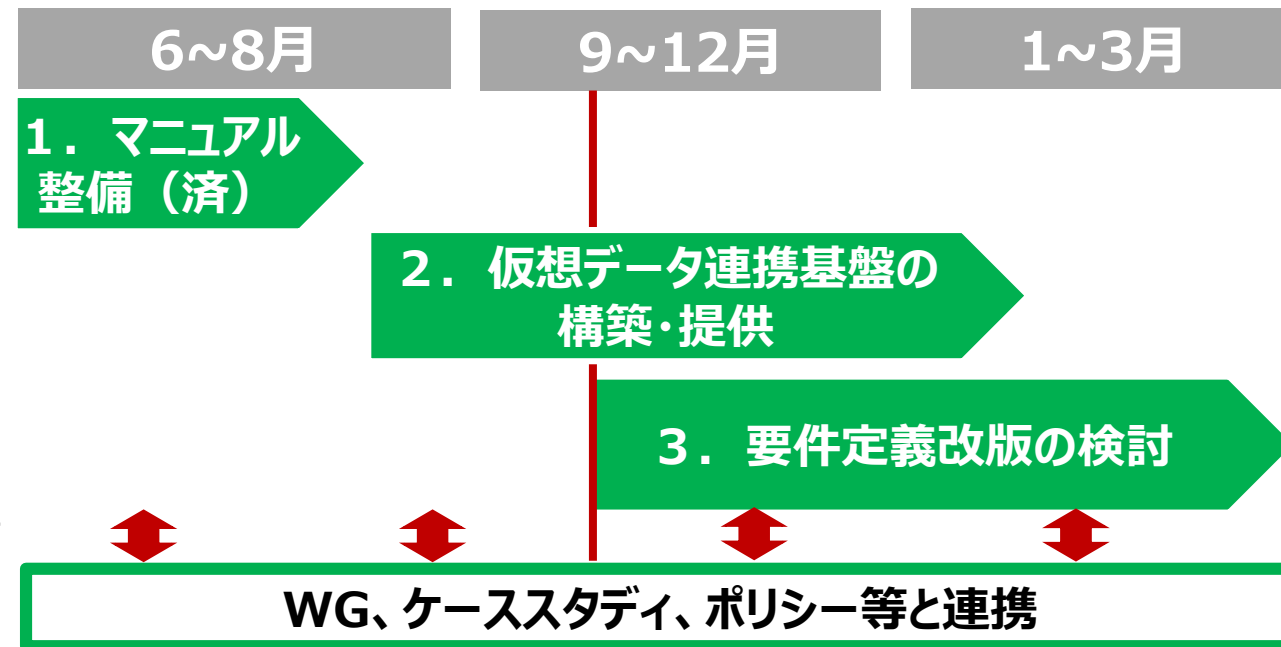
仮想データ連携基盤（実証環境）を8月に提供開始 ケーススタディ事業等での活用を通じて要件定義改版の検討中

目的

- データ登録・提供機能を備えた仮想データ連携基盤をケーススタディ事業等で活用
- 利用者からのフィードバック及びTDPF協議会での提言、国や各団体の動向を踏まえ要件定義書を改版

事業内容

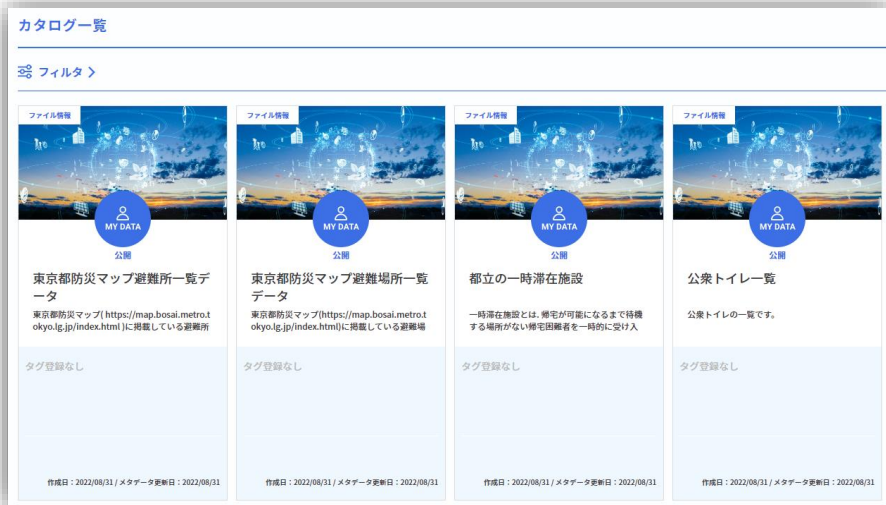
- 仮想データ連携基盤の利用者への技術サポート・マニュアル整備
 - 7月末に整備済
- 仮想データ連携基盤の構築・提供
 - データ登録・提供に係る利用者への活用支援実施中
- TDPFデータ連携基盤の要件定義書を改版
 - 利用のフィードバック収集・整理中



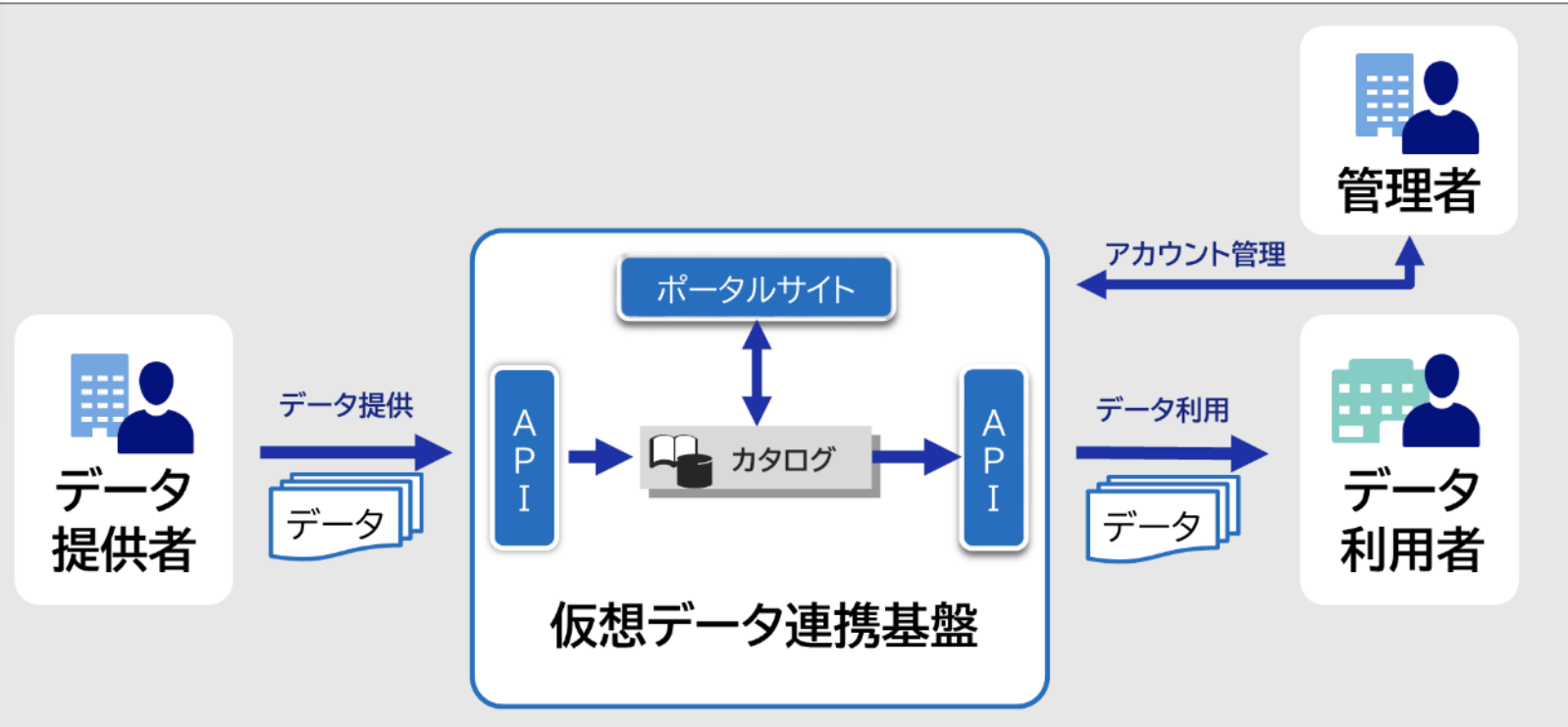
データ連携基盤事業 取組内容

利用者が望むシステムとの乖離や使い勝手等をノウハウとして蓄積

仮想データ連携基盤をケーススタディ事業等で活用し、
デザイン・機能等に関する具体的なフィードバックを反映

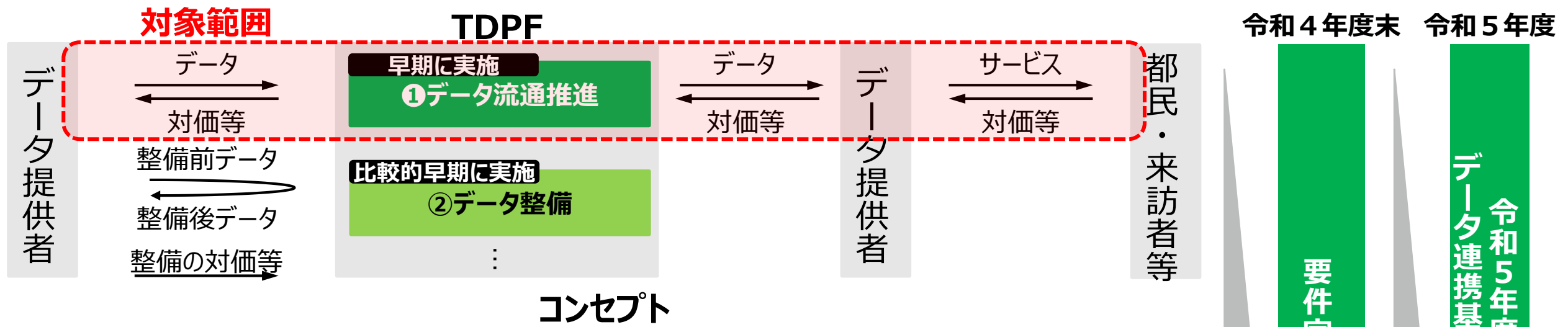


カタログ一覧（実証用）の
画面イメージ



データ連携基盤事業 今後の予定

要件定義書を改版後、令和5年度早期にデータ連携基盤の構築に着手



- ① 大きなデータベースは作らない
 - データを貯めるのではなく、流通させる連携基盤
 - 国や関連団体と同期、他PFとの相互運用性の確保
- ② トラストの確保
 - データのトラストと利用者のトラストに対して連携
 - 基盤が果たすべき役割の見極め
- ③ リーンスタートと拡張性
 - 早計に最終形を定義せず、必要な機能からスタート
 - マイクロサービスアーキテクチャ※で構成
(※ 小さな独立した部品の集まり)

本日の次第

1. 開会の挨拶
2. (報告事項) 東京のDX推進強化に向けた新たな展開について
3. 第5回推進会議の振り返り
4. TDPFのビジョン・ミッション
5. 令和4年度上期の各事業進捗報告
 - データ・利用者を増やす取組 (事業系)
 - TDPFを支える取組 (サポート系)
6. 意見交換①
7. TDPF推進の方向性について
8. 意見交換②
9. 東京都からのお知らせ

意見交換①

ビジョン・ミッション実現に向けた取組について

【1周目】事業系の取組について

- ケーススタディ事業
- データ整備事業
- 防災データWG
- 施設系データ集約WG
- エリア連携検討WG
- Meet-upイベントを通じた新規分野の開拓

【2周目】サポート系の取組について

- データ連携基盤事業
- トラスト検討WG
- ポリシー策定委員会
- その他

本日の次第

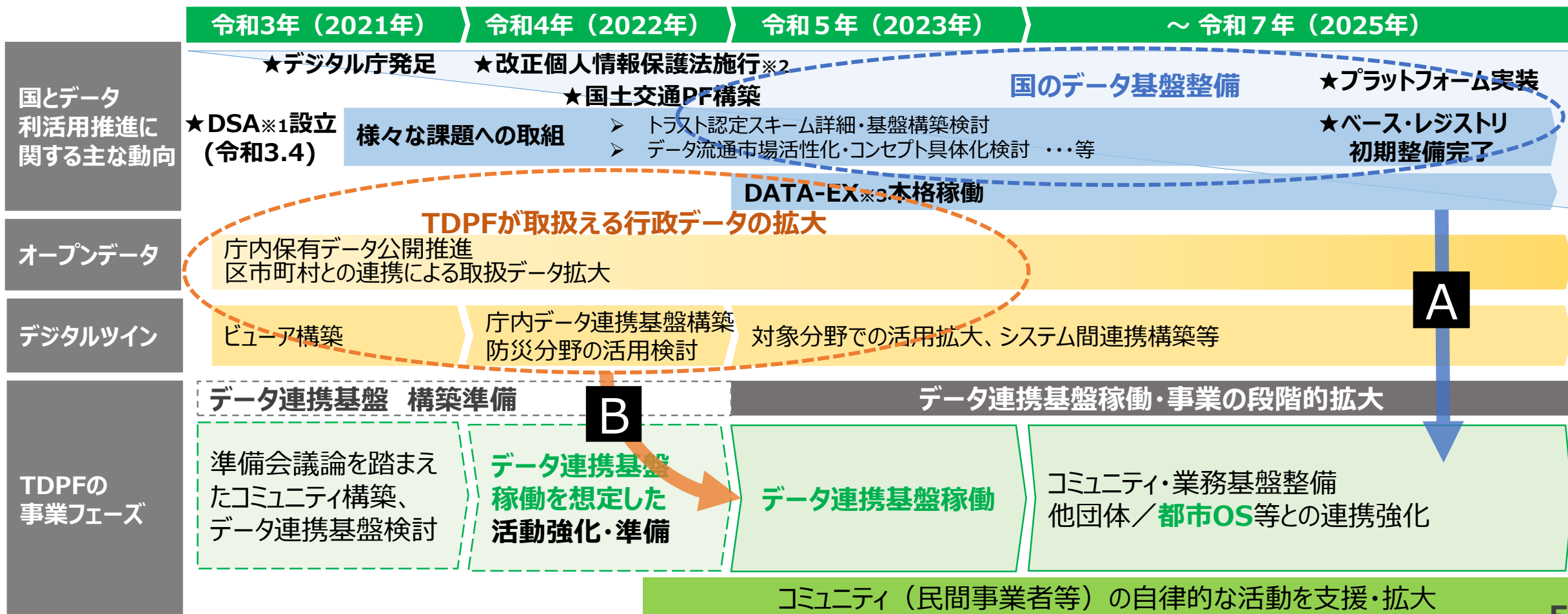
1. 開会の挨拶
2. (報告事項) 東京のDX推進強化に向けた新たな展開について
3. 第5回推進会議の振り返り
4. TDPFのビジョン・ミッション
5. 令和4年度上期の各事業進捗報告
 - データ・利用者を増やす取組 (事業系)
 - TDPFを支える取組 (サポート系)
6. 意見交換①
7. TDPF推進の方向性について
8. 意見交換②
9. 東京都からのお知らせ

TDPF推進の考え方

- 国の『デジタル社会の実現に向けた重点計画』では、2025年をターゲットに施策を展開。TDPFも **2025年をターゲット**に、計画後半部分で国と連携・検討結果を取込み、コミュニティ・業務基盤を整備
- 関連事業のオープンデータ推進・デジタルツインを通じ、TDPFの行政データの品揃え拡大につなげていく

A

B



※1 団体名：一般社団法人データ社会推進協議会（英名：Data Society Alliance） ※2 令和3年改正（地方関係） 令和5年4月1日施行 ※3 分野間データ連携プラットフォーム

取扱データの拡大イメージ

まず行政データを中心にデータの品揃えをし、段階的に民間データを拡充

データ連携基盤稼働・事業の段階的拡大

令和5年（2023年）

～ 令和7年（2025年）

将来

行政データを中心に
ニーズの高いデータを拡充

行政データの品揃えを呼び水に
公共性の高い分野を中心として民間データ拡大

幅広く民間と連携



防災関連データ

避難所、ハザードマップ等



各種施設

バリアフリー情報 …等

行政
データ

- ・ 都・区市町村のオープンデータ
- ・ データ整備事業で整備する
62区市町村データ

- ・ 「防災」「まちづくり」分野等を中心とした
利用者・目的を限定したデータ

- ・ 様々な分野の広域行政データ

- ・ デジ局各事業の静的データ

- ・ デジ局各事業のリアルタイムデータ

- ・ 国等の分野別PFのデータ

- ・ 民間、都市OS等の
オープンデータ

- ・ 公共性の高い利用者・目的を限定した民間データ



交通量データ



電力利用データ



人流データ …等

- ・ 民間の有償データ

取り扱うデータ

民間
データ

推進計画 概要 (案)

TDPFの取扱データ拡大イメージに併せ、各事業の計画を更新・詳細化

令和3年 (2021年)

令和4年 (2022年)

令和5年 (2023年)

～ 令和7年 (2025年)

データ連携基盤 構築準備

データ連携基盤稼働・事業の段階的拡大

準備会の議論を踏まえたコミュニティ構築、データ連携基盤検討

データ連携基盤稼働を想定した活動強化・準備

データ連携基盤稼働サービス開始

コミュニティ・業務基盤整備
他団体／スマートシティとの連携強化

コミュニティ (民間事業者等) の自律的な活動を支援・拡大

TDPF構築のステップ

主な取組

- ・協議会を設立し、コミュニティ構築開始
- ・注力分野を定め、WG活動拡充 (防災データ・施設系データ集約 新設)
- ・データ整備事業検討開始

- ・協議会の取組強化 WG活動拡大 (エリア連携WG立上げ、アドバイザー制度等の活動支援強化)
- ・創出されたモデルユースケースを、仮想データ連携基盤に実装

- ・データ連携基盤サービス提供開始
- ・区市町村データを対象にした整備
- ・ポリシー適用開始
- ・アドバイザリーボード (第三者委員会) 設置・運用開始

- ・都市OS等の他PFとの接続開始
- ・データ連携基盤の取扱いデータ拡充
- ・協議会有償会員制度設計

- ・都市OS等の他PFとの接続を梃子に国・産学官との連携事例創出
- ・有償データ取扱開始
- ・基盤充実により会員増を目指す
- ・データ整備事業本格開始

推進計画 概要（案） 取組別

行政データの拡充やスマートシティとの連携にかかる取組を中心に計画を更新

 …強化する取組

	令和3年（2021年）	令和4年（2022年）	令和5年（2023年）	～令和7年（2025年）
事業フェーズ	データ連携基盤 構築準備		データ連携基盤稼働・事業の段階的拡大	
① コミュニティ構築	協議会設立 交流イベント開始	協議会の取組 拡大	会員制度開始 立上げイベント	国や他団体・スマートシティ等との 交流拡大 会員制度拡充 会員主体の イベント拡大
② ユースケース創出	WG分野拡大 ユースケース案具体化 ケーススタディ実施	アドバイザー制度試行 ユースケース 基盤実装試行	アドバイザー制度開始 WG・ケーススタディを通じ ユースケース基盤実装開始・推進	他PF・スマートシティ 連携事例創出
③ データ整備	行政データ整備 モデルの検討	データ整備 事業化検討	都内行政データ 整備・展開	自動整備メニュー化、 啓発活動等取組 データ整備事業 本格開始
④ ポリシー	ポリシー案改訂 アドバイザーボード設置準備		ポリシー適用開始	法改正・他団体連携等を 踏まえたポリシー更新
⑤ 基盤構築	要件定義	仮想データ 連携基盤構築	データ連携 基盤稼働開始	都市OS等の他PFとの連携機能等、 段階的な機能拡充

今後の検討課題

これまでの推進会議の検討や関連事業の成果を踏まえ
事業開始（データ連携基盤稼働）までに必要事項を取りまとめ

主な検討課題

- TDPFの基本理念の整理
- TDPFの提供サービス内容とプレイヤーの詳細設計
- TDPF事業における評価基準（KPI）
- TDPF事業のチェック機能

等

本日の次第

1. 開会の挨拶
2. (報告事項) 東京のDX推進強化に向けた新たな展開について
3. 第5回推進会議の振り返り
4. TDPFのビジョン・ミッション
5. 令和4年度上期の各事業進捗報告
 - データ・利用者を増やす取組 (事業系)
 - TDPFを支える取組 (サポート系)
6. 意見交換①
7. TDPF推進の方向性について
8. 意見交換②
9. 東京都からのお知らせ

◆TDPF推進の方向性について

- 取扱いデータの拡大イメージに関して

- ↳ まず行政データから拡大

- 事業開始までに取りまとめること

- ↳ 基本理念の整理

- ↳ 提供サービス内容とプレイヤーの詳細設計

- ↳ 事業における評価基準（KPI）

- ↳ 事業のチェック機能

等

- ビジョン、ミッションの下、長期的な視野を持って取り組むべきこと

本日の次第

1. 開会の挨拶
2. (報告事項) 東京のDX推進強化に向けた新たな展開について
3. 第5回推進会議の振り返り
4. TDPFのビジョン・ミッション
5. 令和4年度上期の各事業進捗報告
 - データ・利用者を増やす取組 (事業系)
 - TDPFを支える取組 (サポート系)
6. 意見交換①
7. TDPF推進の方向性について
8. 意見交換②
9. 東京都からのお知らせ

TDPF事業 今後の予定について

都知事杯
オープンデータ・ハッカソン
Final Stage

10月12日
(水)

都のオープンデータを活用したハッカソンを開催中
「都知事杯」等を決定するFinal Stageでは、視聴者
投票により決定する「オーディエンス賞」も新設
ぜひご参加ください

TDPFケーススタディ事業
プロジェクト中間報告会

11月
中旬
予定

採択事業者からのプロジェクト中間報告や有識者による
パネルディスカッションを予定

第7回 東京都における
「都市のデジタルツイン」
社会実装に向けた検討会

11月
下旬
予定

デジタルツイン実現プロジェクトにおけるベータ版事業の中
間報告について有識者からの意見聴取等を予定

事務連絡

本協議会のSlackグループにご参加いただける方は、
アンケート内にアカウント作成に必要なメールアドレスを
ご記入ください。皆さまのご参加お待ちしております。

Tokyo Cool Home & Bizの取組について

HTT <H減らす・T創る・T蓄める> をキーワードにキャンペーンを実施中



<取組紹介サイト>



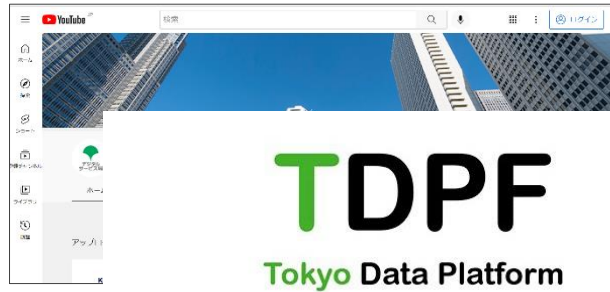
中長期的にエネルギーの安定確保につなげる観点から、
取組を強化・加速してまいります

TDPF 活動内容について

TDPFの活動内容は、東京都デジタルサービス局ホームページや、YouTubeに公開

東京データプラットフォーム協議会
東京都デジタルサービス局

東京都デジタルサービス局- YouTube



東京データプラットフォーム協議会
第5回推進会議



こちらからアクセス



こちらからアクセス

Slackチャンネル構成変更のご案内

令和4年9月よりSlackのチャンネル構成を以下のように変更
皆様のご参加をお待ちしております。ぜひご活用ください

新チャンネル名

内容の説明

#01_イベント紹介・自社PR(general)

イベント情報や自社サービスに関する情報をお待ちしています。

#02_気になる情報・雑談

技術やサービスに関する情報などを、ツイート感覚でお気軽にご投稿ください。

#03_自己紹介

Slack未参加の皆様は、こちらにて自己紹介をお願いします。

#04_このSlackについて

Slackの利用ルールなどを発信致しますので、お困りの際はこちらをご覧ください。

#05_データマッチング・利活用事例紹介

「こんなデータがほしい」や「こんなデータを提供できる」といった情報をお寄せください。

#06_オープンデータリスト

世の中にどのようなデータがあるのかを知見共有するためのチャンネルです。

#07_デジタルツイン

デジタルツインに関する情報をお届けします。

#99_なんでも相談チャンネル

いまさら聞けない質問と思っただけのものでも、受け付けます。ぜひご利用ください。

一般系

WG系

#08_WG-WG活動

WGの結果報告や進捗状況などを発信します。

ご清聴ありがとうございました

皆様の貴重なご意見を活動に反映すべく、アンケートにご回答ください



アンケートURL

<https://forms.office.com/r/i06Wsce33r>

本協議会のSlackグループにご参加いただける方は、アンケート内にアカウント作成に必要なメールアドレスをご記入ください。

皆さまのご参加お待ちしております。